

カビ毒検査のご案内

カビ毒（マイコトキシン）はカビが生育する過程で産生する毒性物質です。発がん性のあるものもあり、人体、家畜の健康に被害をもたらします。カビが死滅してもカビ毒は残存するため、注意が必要です。当協会では精密機器を用いて、さまざまな種類のカビ毒を検査しています。

さまざまなカビ毒検査のご要望にお応えします

◆ 検査可能なカビ毒

総アフラトキシン (アフラトキシンB ₁ , B ₂ , G ₁ , G ₂ の総和)	デオキシニバレノール (DON) 3,15-アセチルデオキシニバレノール	ゼアラレノン オクラトキシン A
アフラトキシンB ₁	ニバレノール	シトリニン
アフラトキシンB ₂	フザレノン X	フモニシンB ₁
アフラトキシンG ₁	T-2トキシン	フモニシンB ₂
アフラトキシンG ₂	HT-2トキシン	フモニシンB ₃
※ 上記以外のカビ毒については別途お問い合わせください。		ステリグマトシスチン

◆ 基準値のあるカビ毒

○食品	総アフラトキシン	…	10 µg/kg	全ての食品
	デオキシニバレノール	…	1.0 mg/kg	小麦
	パツリン	…	50 µg/kg	りんご果汁
○飼料	アフラトキシンB ₁	…	0.02 mg/kg	反すう動物（ほ乳期のものを除く。牛、めん羊及び山羊にあつては、搾乳の用に供するものを除く。）、豚（ほ乳期のものを除く。）、鶏（幼すう及びブロイラー前期のものを除く。）及びうずらに給与される配合飼料及びとうもろこし
		…	0.01 mg/kg	反すう動物（ほ乳期のものに限る。）、豚（ほ乳期のものに限る。）及び鶏（幼すう及びブロイラー前期のものに限る。）に給与される配合飼料
	ゼアラレノン	…	1 mg/kg	家畜及び家きんに給与される飼料（配合飼料を除く。）
		…	0.5 mg/kg	家畜及び家きんに給与される配合飼料
	デオキシニバレノール	…	4 mg/kg	反すう動物（ほ乳期のものを除く。）に給与される飼料（配合飼料を除く。）
		…	3 mg/kg	反すう動物（ほ乳期のものを除く。）に給与される配合飼料
		…	1 mg/kg	家畜（反すう動物（ほ乳期のものを除く。）を除く。）及び家きんに給与される飼料
	フモニシン(B ₁ +B ₂ +B ₃)	…	4 mg/kg	家畜及び家きんに給与される配合飼料

当協会は、カビ毒試験において、試験所の能力に関する国際規格である ISO/IEC 17025 試験所認定を取得しています。精度、信頼性の高い検査結果をご提供いたします。

お申込み・お問い合わせ



03-3668-0911



rencho-g-hed@kokken.or.jp

担当 : 連絡調整グループ

一般財団法人 日本穀物検定協会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 15-6

インターネット : <https://www.kokken.or.jp>